

# 臨海副都心の中心部から世界へ発信 運河に高層ビルが映る水彩・環境都市

## 埋め立て事業で形成された都市

今回、訪問した江東区は、江戸初期から長年にわたる埋め立てで形づくられたまちである。隅田川と荒川に挟まれた東京湾臨海部（江東デルタ地帯）の南側にある江東区の区域のほとんどは、徳川家康が江戸に入った1590年代から明治・大正・昭和・平成に至るまで、東京湾（江戸湾）の海際の湿地の埋め立てにより形成された。その過程で多くの運河も開削されていく。

家康が手掛けたとされる最古の運河は、江東区を横断する形で隅田川と荒川を結んだ全長約5kmの小名木川である。これは千葉の行徳方面から塩や野菜などを運ぶことを主目的に開削された。

それ以後、幕府は江戸時代を通して、同様に江東区を横断する仙台堀川や堅川、それらを縦につなぐ横十間川や大横川など、大小さ

まざまな運河を次々開削していった。

こうした運河では埋め立て事業のための石や土、まちを築くための木材など多様な目的の物資も運ばれた。江戸を新たにつくるため、家康は物流システムの構築からまず手掛けていったのだ。

その結果、総延長が50kmにも及ぶ運河網が四通八達する、現在の江東区の基盤が構築されていった。こうした地勢的特徴は文化面においても産業面においても、江東区や周辺の江東デルタ地帯における、都市としての基盤をつくる原動力になったのは間違いない。

現在の江東区には多くの超高層のオフィスビルやマンションが林立するが、それに彩りを添えるのが、これまでに造成された、地域基盤としての運河（水辺空間）である。高層ビルのシルエットが、その水面に映り込む様子は意外性もあって、多くの人の目を楽しませる。伝統という基盤の上に、新たなまちづくりが展開される、江東区を象徴する景色と言

えるだろう。

そんな地域性を誇

る江東区を13年にわたってリードしてきたのが山崎孝明江東区長である。生まれも育ちも江東区という山崎区長の地元への思い入れは強い。

区庁舎の壁面には、「スポーツと人情が熱いまち江東区」と書かれた垂れ幕が掲げられているが、この「人情」のフレーズには、



やまざきたかあき  
山崎孝明  
江東区長



富岡(深川)八幡宮例大祭(今年はコロナの影響で来年に延期)

山崎区長の熱い地元愛が投影されているという。  
 また「スポーツ」というフレーズにも山崎区長の熱い思いが詰まっている。母校・都立両国高校野球部の監督をかつて務めた山崎区長のスポーツ全般に対する思い入れは非常に強い。そうした縁もあって、山崎区長は、東京オ



木場名物の角乗は江戸時代から続く民俗芸能

リンピック・パラリンピックの招致活動に長年、力を尽くしてきた。江東区は東京2020オリンピック・パラリンピック(以下、東京2020大会)の主要開催地の一つとして、来年は世界中から多くの人を迎え入れることになるが、その準備も滞りなく進めている。

さて冒頭で、江東区は江戸期以降の埋め立てで形成されたまちだと紹介したが、江東区編纂『江東区のあゆみ』によれば、徳川家康が江戸入府したころ(1590年ごろ)に、現在



の江東区の区域で土地が存在していたのは、江戸川区・墨田区と境を接する「亀戸2・3・5・8・9丁目辺り」だけだったようだ。つまり現在の40・16km<sup>2</sup>の江東区の面積のうち、ほとんどが後の埋め立て事業で形成されたことになる。

埋め立て事業は明治時代以降に拍車が掛かる。例えば、明治15年時点における現・江東区に相当する部分(旧東京府深川区と城東区)は11・40km<sup>2</sup>だ。江戸時代の拡大に加え、近代以降の約140年だけで約3・5倍に拡大していることになる。

江東区は昭和22年、埋め立てでさらに広がった東京都深川区・城東区の合併で誕生する。当時の面積は約22・5km<sup>2</sup>。73年後の現在(40・16km<sup>2</sup>)は倍に近い。また、その間の人口



河川を活用し好評のカヌー・カヤック場



全国的にも珍しい区立小中学校セーリング部の活動

の推移を見ると、江東区発足時は約9万7千人で、今年（令和2年）6月1日現在では約52万7千人と大幅に増加している。

### 成長要因は運河・広大な平地・交通網

「江東区の伝統的な基盤としては、江戸時代に街並みが形成され、江東区誕生当時の中心地ともなった内陸部・隅田川沿いの深川エリア（深川八幡を中心に森下、白河、深川、越中島ほかの地域）と、荒川沿いの城東エリア（亀戸天神を中心に亀戸、大島、北砂、南砂ほかの地域）があります。そこへ大正から

昭和に埋め立てられ、発展した南部の臨海エリア（豊洲・東雲・有明・青海ほかの地域）が加わりました。

そして、江戸時代から構築されてきた物流に便利な運河が多いこと、埋立地特有の平地が多いこと、都心からの直線距離が近いことなどから、特に近代以降、江東区には化学工業から重工業に至るまでの工業立地が盛んになります。後に大企業となる石川島播磨重工業（IHI）なども臨海エリア

アで成長していきました。物流に不可欠な倉庫産業なども、渋沢栄一直系の渋澤倉庫をはじめ、次々と立地していきました。日本のセメント工業や製糖産業などは、江東区がそもそも

の発祥地です（山崎区長）

こうした産業立地が進展するにつれて、人口も急増する。昭和35年の国勢調査で30万人を超えてから、江東区の人口は約40年間にわたり微増・横ばいが続くものの、平成12年以後から再び上昇カーブを描き始める。

それは臨海エリアを中心に進んだ超高層オフィスビルやマンションなどの増加現象と軌を一にする。大きな推進力になったのは鉄道

網の拡充と、首都高速など各種幹線道路網の拡充だ。

例えば鉄道だけをみても、昭和63年に地下鉄有楽町線が新富町駅から新木場駅まで延伸した。平成2年にはJR京葉線の新木場～東京間が開通。平成8年にはりんかい線・新木場駅が開業（後にJR埼京線と相互乗り入れ）。こうして、新木場駅が臨海エリアの拠点ターミナルと化すと同時に、平成7年の新交通ゆりかもめの開業とその後延伸で、豊洲・有明・青海地区など江東区内の新興湾岸地区は、台場や汐留など港区側の主要湾岸地区および新橋と直結。東京都臨海副都心の中心部を形成する要因が整った。

また新交通ゆりかもめの市場前駅は、平成30年10月開場の豊洲市場の最寄り駅であり、豊洲・有明地区に位置する駅の多くは、東京2020大会の主要競技施設の最寄り駅でもある。

「東京2020大会は、ご承知のように新型コロナウイルス感染症の影響で、残念ながら1年間の開催延期となってしまいました。江東区内では、オリンピック12競技が10会場で実施されますし、パラリンピックも8競技が区内の7会場で実施される予定です。

現在、区内の競技会場の整備などは順調に進んでいます。大会に何らかの形で関わる区民による各種ボランティアの公募・養成、区施設を各国の練習会場用に準備するなど、江東区ができることも可能な限り進めています。

今は、とにかく新型コロナウイルスの一刻も早い収束を願うしかない。こればかりは自分たちの努力だけではどうしようもありませぬから」(山崎区長)

そう淡々と語るが、山崎区長とオリンピックとの関わりは一朝一夕のものではない。都議時代には招致議員連盟・初代会長として、平成28年の東京大会招致活動を、石原慎太郎都知事(当時)と共に平成18年から熱心に進めた。平成19年4月に江東区長に就任した後も招致に深く関わり、平成21年10月のIOC総会で東京大会構想が落選した後も東京開催の実現に向け、その情熱は衰えなかった。

かくして、平成25年に東京2020大会の開催が決定。山崎区長は翌年から、東京オリンピック・パラリンピック競技大会組織委員会の参与に就任。東京都や組織委員会との連携活動を軸に、競技開催地の首長としても可能な限りの尽力を続けている。

## 東京2020大会への 思いとレガシー継承

「コロナ対策については、オリパラ開催都市としての責務も含め、とにかく拡大をさせない、なるべく地元から患者を出さないことを第一に、今年2月からいち早く医師会の協力の下、検査を必要とする人に対し、家庭訪問による検体採取を行うなど、積極的に取り組んできました。PCR検査センターの開設

は4月半ば過ぎからですが、そのような努力を事前に行ってきた。オリパラの開催にせひともこぎ着けたいということももちろんありますが、やはり区民の健康の確保と維持が第一です。何とかして世界のコロナ騒動が収束に向かい、無事に開催を迎えられたら、感動もより一層得られるのではないか。そのようにも考えています」(山崎区長)

東京2020大会については、特に次世代を担う若者や子どもたちに「世界の一流アスリートと直接触れ合えるような機会を作ってあげたい」と山崎区長は力を込める。その背景には昭和39年に開催された東京オリンピックの際に、山崎区長自身が体験した大きな感動があるという。



今年4月に設置されたPCRセンター

「私は当時、大学生でしたが、代々木選手村の食堂でボランティアのボーイとして働きました。食堂ですから毎日朝昼晩と、世界の一流選手がやって来ます。彼らはフランクですから、私たちのようなボーイとも気さくに触れ合ってくれました。そのときに日々覚えた感動は、その後の自分の人生の大きな糧になっています。

世の中にはさまざまな人種が混在し、主義主張の違いはあるけれども、基本はやっぱり人と人の絆です。それを基盤として、どんな国の人とも仲良くしていこうとする姿勢が大切なのだという五輪精神を、心底実感することができました。それは私が今日まで政治の道を進んできた際のベースにもなっています。そのような感動や気付きを、現代に生きる子どもたちや若者にもぜひ体験してもらいたいと思います。

オリパラで行われる競技の素晴らしさもあることながら、外国人旅行者を含め、江東区を訪れてくれる世界の人々との触れ合いの素晴らしさを通じて、若者や子どもたちに《何か》をつかんでもらいたいです」(山崎区長)

東京2020大会を契機に新たに整備された《東京アクアティクスセンター(競泳、アーティスティックスイミング、飛び込みを実施)》《夢の島公園アーチェリー場(アーチェリーを実施)》《海の森水上競技場(カヌー、ボートを実施)》《有明アリーナ(バレーボール、車いすバスケットを実施)》などは、



リニューアルが進む有明テニスの森(東京2020大会競技施設)



東京2020大会の競泳主要施設・東京アクアティクスセンター



豊洲市場前から遠望できるオリパラ選手村(豊洲ぐるり公園)

全て建設が終わっており、大会後も恒久的に使用されることが予定されている。いわば「形として残るレガシー」だ。それに対し、若者や子どもたちが世界の人々と触れ合う体験の継承は、まさに「心のレガシー」といえるだろう。

### 独自の防災体制と水彩・環境都市

江戸時代初期からの埋め立て事業を中心に土地形成が行われてきた江東デルタ地帯(江

東区全域・墨田区全域・江戸川区の一部は、大規模水害や震災などの際の避難計画の立案が難しいエリアとされてきた。しかし、近年は試行錯誤の末に、江東区ならではの特徴を生かした避難システムが構築されつつある。

「江東デルタ地帯では戦後の昭和20年代から30年代だけでも、台風などによる水害で甚大な被害が発生しています。それは土地の低さが原因の一つです。わたしも、まだ5歳だった昭和24年のキティ台風の際には、高潮で大洪水が発生したために、自宅の屋根裏に逃げ

てようやく助かったという経験をしています。

台風による床上浸水・床下浸水というのは、毎年のようにありました。そのため防潮堤の建設を中心に、東京都も江東区も必死になって対策を立てた結果、昭和40年代半ば以降は目立った水害は起こらなくなりました。しかし、昨年の台風19号の際には荒川が危険水域に達し、区として避難勧告を初めて発令しました。幸い被害はほとんどなかったものの、今後は同様の巨大台風や記録的な集中豪雨の予測もあり、従来の防潮堤頼みの対策では追いつかない状況が出てくると危惧しています。そこで知恵を絞り、耐震・免震構造の高層住宅の多い地域性を生かした《在宅避難》の

# 江東区

市 政 ル ポ

(東京都)



区内至る所に設けられている親水公園(古石場川親水公園)



今後の発展が期待される豊洲市場



豊洲市場に隣接する千客万来施設は令和5年春開業の予定

発想も取り入れたのです」(山崎区長)

江東区における住宅事情の際立った特徴として、区民の80%以上が高層マンションをはじめとした集合住宅に暮らしているという事実がある。いざというとき、この高い集合住宅や高層ビルの上階を避難所とすることができれば、集合住宅住まいの人々は在宅避難を考え、一戸建て住宅や低層アパートに暮らす残り20%の人々も近隣の高層マンション、高層ビルに避難するという計画を立てられる。これは既に選択肢の一つとして、区民の共通認識となっている。もちろん、公共施設などを活用する通常の避難所計画もあるが、建物

の高さを生かした《在宅避難》という選択肢は、まさに江東区ならではの発想だろう。

さて、これまで述べてきたように、東京湾の臨海エリアで独自の発展を遂げてきた江東区には現在、来夏に予定されている東京2020大会の開催、一昨年に開場した豊洲市場における千客万来施設の開業(令和5年春予定)など、国際的に見ても大きな話題が目白押しだ。さらに、臨海部の高層オフィスビルやタワーマンションなどの建設も、同時多発的に進んでいる。

長年の懸案である南北都市軸を強化する地下鉄8号線(有楽町線)の延伸計画について

は、今年1月から、国、東京都、東京メトロによる「東京8号線延伸の技術的検討に関する勉強会」が開催されている。「まだ先の長い話」(山崎区長)ではあるが、これが軌道に乗れば、江東区のまちづくりがさらにダイナミックに動き始めることは確実だろう。

今回は臨海部の動きを主に紹介したが、東京都の七つの副都心計画には豊洲・有明地区等の臨海副都心計画のほか、江東区北部の錦糸町・亀戸副都心計画も含まれる。運河を有効活用する親水都市(水彩・環境都市)を目指すとともに、オリパラや豊洲市場など世界的バリューのあるイベントやランドマークの展開も控える江東区のまちづくり。特別区長の会長でもある山崎区長がけん引する近未来は、要注目だ。

(取材・文〓遠藤隆／取材日令和2年5月27日)